

第3学年 算数科 「かけ算かな わり算かな」 評価規準

単 元 の 評 価 規 準	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
	自分の考えを整理したり，人に伝えたりするときに図を使おうとする。 答えをもとの問題の文章にあてはめて確かめようとする。	乗法や除法の2要素1段階の逆思考の問題を解くことができ、解決の方法が説明できる。	題意をつかみ、絵や図に表すことができる。	線分図による数量の関係の表し方がわかる。

時間	ねらい・学習活動	関	考	表	知	学習活動における具体的評価基準例
1	乗法の逆思考の問題 ($\times a = b$ 、 $a \times = b$) を解くことができる。					<p>【考】「乗法の逆思考の問題 ($\times a = b$) の解き方が分かり、立式することができる」 B：乗法の逆思考の問題 ($\times a = b$) の問題において題意をつかみ，わり算の式に表し答えを求めることができる。 A：求めた答えをもとの問題の文章にあてはめて確かめようとする。</p> <p>【表】「問題を線分図に表すことができる」 B：問題を線分図に表すことができる。 A：線分図の中に条件や求めることが落ちなくかき込んでいる。</p>
2	除法の逆思考の問題 ($\div a = b$) を解くことができる。					<p>【考】「除法の逆思考の問題 ($\div a = b$) の解き方が分かり、立式することができる」 B：除法の逆思考の問題 ($\div a = b$) の問題において、題意をつかみかけ算の式に表し答えを求めることができる。 A：求めた答えをもとの問題の文章にあてはめて確かめようとする。</p> <p>【関】「自分の考えを人に伝えるときに図を使おうとする」 B：問題を絵や図，線分図に表すことができる。 A：どんな図にすれば人に説明するときにわかりやすいかを考え表すことができる。</p>
3	除法の逆思考の問題 ($a \div = b$) を解くことができる。					<p>【考】「除法の逆思考の問題 ($a \div = b$) の解き方が分かり、立式することができる」 B：除法の逆思考の問題 ($a \div = b$) の問題において、題意をつかみわり算の式に表し答えを求めることができる。 A：求めた答えをもとの問題の文章にあてはめて確かめようとする。</p> <p>【表】「自分の考えを整理したり，人に伝えたりするときに図を使おうとする」 B：問題を絵や図，線分図に表すことができる。 A：どんな図がより簡潔でわかりやすいかを考えながら線分図に表すことができる。</p>